新年の抱負

第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会を終えて
（第48回北海道母子寡婦福祉研修大会）

理事長　畑　和子

新年おめでとうございます。

皆様お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと存じますが、幸多き年になりますよう心から願っています。

昨年、コロナ感染拡大の中、第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会が、皆様のご参集により開催できましたことを厚くお礼申し上げます。鈴木知事さんと、秋元札幌市長さんに歓迎のご挨拶をいただいた時は、「これで大丈夫！」と自信が湧きました。二日間、無事に過ごせましたのも胆振地区の皆様、実行委員、事務局のお陰と感謝しています。

長く続く自粛生活、人と会うこと、出会い、対面することが如何に大切であるか、コロナ禍だからこそ、つながりが重要であることを知らされました。この大会を機に、各地区、各単位会の研修や行事が徐々に前進できることを願っています。研修大会ばかりでなく、事業運営も人です。人を大事にしていきます。

昨年夏と冬の二回に亘り、ライオンズクラブ様から石狩・空知地区の母子家庭に、「コロナに負けるな！子ども笑顔応援プロジェクト」として、お米や食用油、レトルト食品やお菓子などが詰められた「宝箱」のご支援をいただきました。私たちは、子ども達が笑顔になる楽しい活動をして、応援して下さる方々に応えたいものです。

室蘭市に拠点のある、母子家庭等就業・自立支援事業のセンター長が10月1日より道母連の藤本恭子理事に交代しました。今後は一層きめ細やかな事業運営ができると思います。5圏域の皆様のご協力をお願いします。

少子高齢化ですが、支え合って休会を止め、ひとり親家庭に寄り添い、奨学金の活用を向学心のある高校生に薦めていただきたいと思います。

よい一年でありますように。

会場設営完了

前日の資料詰め

前日開催の第２回実行委員会

黙食ながら楽しい仲間との交流会

真剣な眼差しで研修

研修討議提言の
室蘭母子福祉会
原順子会長

大役を果たした
総合司会の
甲谷千春理事